



＜問合せ先＞
 子ども未来応援センター
 富士見市大字鶴馬3351-2
 TEL 252-3773

各事業についてのお問合せはこちらをお願いします。

地域で子育て

どんな応援ができるかな

子ども未来応援センター取材記

「子どもは地域の宝。地域で子育てを」と言われて久しいので、関心をお持ちの方も多いことと思います。富士見市では、妊娠期から子育て期に至るまで切れ目のない支援ができるようにと、子ども未来応援センターが設立されています。今月号では、当応援センターでどんな事業が行われているのか、取材させていただきました。地域でどんな応援ができるか考えてみましょう。

母子手帳の交付を中心にした子育て家庭に対する支援

ママのリラックスタイム

日時 毎週水・金曜日
 午前10時～11時半、午後0時半～午後2時
 場所 健康増進センター

妊娠をしたり、子どもが生まれたりすると生活が変化し、心に不安を持つ人もでてきます。

そんな妊婦さんやお母さんが孤立しないように、子育て経験のある先輩ママがお話を聞いてくれたり、赤ちゃんを見守ってくれたりしながら、ゆっくりと過ごすことができる事業です。

取材に合った1月水曜日の午後は、全員が初産婦の4組の親子が参加。2か月、3か月、5か月（2人）の赤ちゃんを連れて、鶴瀬駅近く、渡戸、みずほ台と市内全域から来ていました。1回4組の予約制ですが、人気の事業なのでリピーターも多いそうです。

目の前に月齢の違う赤ちゃんがいるので、発達過程もよくわかり、予防注射の話、離乳食の話、洋服の話など話は尽きず、あっという間に予定の時間になってしまいました。



会場が工事中のため
水谷第一集会所で開催

参加者の声

- ・昼間はずっと2人なので、ここに来るとお話ができてリラックスできます。
- ・お友達がいなかったのので、ここを勧めてもらった。外に出ることが少ないのでうれしいです。

子ども未来応援基金 問合せ 富士見市社会福祉協議会
 TEL 254-0747

富士見市社会福祉協議会の事業ですが、こども未来応援基金が設けられています。子ども食堂や学習支援等、子どもや若者の居場所づくり事業を行う団体の事業に対し助成をしています。この基金を支える寄付金を募集しています。

子ども食堂や学習支援教室のサポート

たくちゃん食堂

日にち 毎月第3土曜日
 場所 社会福祉法人たくみ敷地内
 (鶴瀬西2丁目)

鶴瀬西地域では、社会福祉法人たくみ（えぶりわん鶴瀬Nisi）敷地内の地域食堂キッチンうえるかむでこども食堂「たくちゃん食堂」を行っています。近ごろ、一人で食べる「孤食」、同じものだけ食べる「固食」、一緒にいても各々別のものを食べる「個食」など、さまざまな「こしょく」の食事になりがちです。



ここでお弁当を渡しています



ボリュームたっぷりのお弁当です

子ども未来応援基金の助成を受けて、身近な地域で人と人とのつながりやふれあいがあって、お互いに元気をもらえる世代間交流の場所にしたいと思っています。

現在はコロナの感染予防のためお弁当提供ですが、また一緒に食事をしたり、遊んだりできるように活動を続けていきます。

**コロナが終息して
みんなでワイワイ食事ができるといいですね**

こんな形の応援もできます

子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ

- サポーターを募集しています
- ・食料品や文具、衣料品等の物品の提供
 - ・調理、学習、送迎、見守りなど労働力の提供
 - ・金銭の寄付



居場所サポーターズ CoCoいる

日時 月1～2回 午後7時～9時
 場所 鶴瀬西交流センターほか



子ども未来応援センターで開催された講座の参加者が集まって発足しました。

若者を中心としたあらゆる方々に、学校や家庭以外にもちょっとした居場所を作りたいと活動している会です。ボードゲームなどでレクリエーションを楽しんでいますが、何をしても何もしなくてもいいのです。

出入り自由、申込み不要です。（代表 本田 律さん談）

ファミリー・サポート・センター

子育てって大変。誰かちょっとだけ手伝ってよ（依頼会員）。ちょっとなら手伝えるよ（提供会員）。という方を橋渡ししているのがファミリー・サポート・センターです。保育所・幼稚園への送り迎えや習いごとの送迎、美容院に行きたいなど多くのことで利用できます。時間によって料金が決まっています。車を利用する支援が求められることが多く、運転免許を持った方の登録が期待されます。

会員の声

滑原 要子さん (提供)
 お預かりは、私にとって癒し。赤ちゃんのお世話、絵本、お散歩…。できるだけお子さんの気持ちに寄り添って過ごすことを心掛けています。子育ての経験が生かせる貴重な場になり、充実感いっぱいの一ときです。

S.Kさん (依頼)

パートで働いています。残業のときもあるので、そのとき小学3年生の子どもの習い事の送迎をお願いしています。親子で安心してお願いしています。